

会議要旨

会議の名称	令和６年度 第３回おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議	
日 時	令和７年２月７日（金曜日）１５時３０分から１６時１５分まで	
場 所	おいらせ町役場本庁舎 庁議室	
出席者等	委 員	【出席者】平井 太郎（会長）、槇 公彦（副会長）、高田 雅史、中村 綱吉、佐々木 秀智、遠藤 剛 【欠席者】関 和洋、柏崎 尚久、高渕 華奈子、志村 博、佐々木 寿子
	デジタル 関係アド バイザー	株式会社ヘプタゴン 代表取締役 立花 拓也
	事 務 局	政策推進課 課長 田中 貴重、主任主査 馬場 祐二、主査 三浦 弘嗣
傍聴者数	０ 名	

１．開会

※事務局の進行で開会。（１５：３０）

２．会長あいさつ

発言者	発言内容
平井会長	今日は年度末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。皆様からいただいたご意見がまとまりましたので、このたび、おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略の答申にこぎつけることができました。ご協力ありがとうございます。本日は最後の確認をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3. 案件	
(1) 答申（案）について	
発言者	発言内容
事務局	〈案件（1）答申（案）を説明〉
平井会長	答申（案）の内容については、事前に皆さんに確認をとっておりました。何か皆さんの方からご指摘やご意見等はありませんか。
委員	公共交通について、町内のバス停が散らばっていますので、何か集約する動きがあれば、もっと利便性が高まると思います。また、デジタルサイネージ等を活用して運行状況が確認できるようなものがあると、より利便性が向上すると思われますので、提案します。
平井会長	バス停が散っているとは、どのようなことでしょうか。
委員	例えば、イオンモール周辺にはシャトルバスや十鉄バス、長距離バスのバス停がありますが、それぞれ離れています。法律の関係もありますが、使いづらいように思います。そのようなバス停を一つに集め、デジタルサイネージで時刻や運行状況等を確認できるようにすると、公共交通の利便性向上につながると思います。高齢者も増えてきますので、今後は公共交通の充実にも努め、交通弱者にも優しいまちづくりをお願いしたいと思います。
平井会長	確かに法律の壁はありますが、逆に言えば、それが解消されると全国的なモデルになると思います。
事務局	今のご提案については、町の課題の一つであると認識しております。特にこれから庁舎や病院等の移転に伴い、その周辺のまちづくりも検討していかななくてはなりませんので、公共交通の充実も併せて、検討していきたいと考えております。今回の戦略は、毎年更新可能なので、他にも何か課題やご提案があれば、戦略に組み込んでいきたいと思います。
平井会長	非常に柔軟な戦略となっていますので、今後もご提案等があれば検討していきたいと考えております。付帯意見の中で、「人口の増加に向けて」とありますが、これは定住人口の増加だけではなく、関係人口や交流人口も含めていることでよろしかったでしょうか。最近では2地域居住等もありますので、幅広い解釈が含まれているのか確認したいです。
事務局	戦略の施策やKPIに関係人口や観光客入込数の記載がありますので、関係人口や交流人口も増加させるという方向性です。
平井会長	これからは、従来の定住人口の増加だけではなく、関係人口や交流人口等、幅広く活躍していただける方を増やしていくことが重要です。ぜひ人口減ではなく、人材増を目指していただきたいです。
立花 氏	デジタルの活用ですが、子ども世代と高齢者の世代向けで政策を実施することは理解しましたが、産業に関連して実際に働いている方々向けの政策も必要ではないかと考えます。
平井会長	付帯意見のところになります。デジタル技術の活用について、子どもや高齢者の生活支援だけではなく、働いている世代や障がい者の方等、幅広い生活支援も必要です。特に働いている世代には、ビジネス面での支援も必要であるということです。この具体的な支援については、今後政策推進課と一緒に検討していきたいです。

(2) 今後の日程について	
発言者	発言内容
事務局	〈案件(2) 今後の日程について説明〉
平井会長	おいらせラボについては、部員3名とデジタルアドバイザーの立花さんと一緒においらせ町の発展に向けた事業案を検討してします。その案についても、事業化に向けて着実に進めている状況にあります。今後、検討した事業をこの戦略会議で皆さんに共有し、よりよい事業になるようご意見をいただければと思います。今後の日程について、質問はありませんか。
委員	意見なし

— 答申準備のため、暫時休憩 —

4. おいらせ町人口ビジョンの改訂及び第3期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略への答申
平井会長が答申書を読み上げ、成田町長へ渡した。

5. 町長あいさつ	
発言者	発言内容
成田町長	町からの諮問に対して、平井会長はじめ委員の皆さまが検討され、そして答申いただいたことにお礼申し上げます。答申書にもありましたが、少子高齢化は町も近い将来の課題であると感じており、まちづくりをどうすればいいかということを生懸命考えております。現在町は、幸福度が東北で一番になってみたり、住みこちが県内で一番になってみたりと、努力してきた結果がみえています。その理由として、町政、予算の使い方、大型ショッピングセンターの設置等に伴い、移住者が増加し、それらがスパイラルのような相乗効果を生み、町が発展してきたのではないかと考えています。しかし、私もいずれは町の人口も減ると思いますし、仕方がないことだと考えています。私が生まれた時から人口が増えに増えたおかげで、今の時代を築くことができました。これから、町の人口が減る時がきたら、減ったなりのまちづくりや政治をやってみては良いのではないかと思います。今回皆さまからのたくさんのご提案を参考にしまして、進めるべきものから順に選択して取り組んでいきたいと考えております。おいらせ町は地の利が良いため、人口が増え、町内には大型ショッピングセンターや高速道路もあり、近くには三沢空港等もあり、様々な部分で恵まれています。今東京一極集中といわれていますが、いずれは大都市も必ず高齢化等の問題に直面する時期がきます。町長になった以上、町のことだけではなく、国のことも考えなければならないという想いで頑張っています。町の職員たちも良い町を生懸命つくるために頑張っています。最後に皆さまからのご意見を参考しながら、より良い町をつくっていきますので、これからもご協力いただければ大変ありがたいです。今日は本当にありがとうございました。

6. その他	
発言者	発言内容
平井会長	その他、何かありませんか。
事務局	町では、これから庁舎や病院の建設に伴い、新庁舎、新病院、そしてその周辺を含めた更なる町の発展に向けたまちづくりを計画しています。その中では、いちょう公園や下田公園等の既に町にある素材も活かしていきたいと考えています。そのために、皆さまに参画いただき、ご意見やご提案をいただきたいと思います。その際は、知見や経験等を集約できるワーキング的な方式で、委員会のように細分化して、実施できればと考えています。平井会長の方からは何かありませんか。
平井会長	青森県内 40 市町村で会議に出させていただいておりますが、皆さん本当に活発に意見を出されています。またそれが意見を出されてだけでなく、適切に役場の方が受け止め、中には委員の方が自分自身のことと受け止めて、一つ一つ形になっています。このような会議体は非常に素晴らしいものだと感じています。日本全体としては、今人口減少が課題だと言われていますが、世界的には脱炭素や CO2 削減等が課題となっており、もしかしたら、今後ガザ地区の方々を受け入れなくてはならない状況が来るかもしれません。これから我々が自分事として、引き受けるべきこととして、出てくるものが来るかもしれないので、皆さんも様々なことにアンテナを張りつつ、一つ一つ実現に向けて、これからはお力を借りしていきたいです。よろしくお願いします。

7. 閉会
※閉会する。(16 : 15)